

## 平成25年度 貝毒プランクトン出現状況(8月6日現在)

男鹿半島戸賀湾で、貝毒の原因とされるプランクトン(渦鞭毛藻類 *Dinophysis* 属)の出現状況を調査しています。

8月6日の調査では、*Dinophysis fortii*は出現しませんでした。が、*Dinophysis acuminata*が高い濃度で出現しました。

*D. fortii*の細胞数が5月14日と5月23日と連続して警戒値を超えて以降、県水産漁港課が行ったイガイの下痢性貝毒検査において、長期にわたって出荷規制値(0.05MU/g以上)を超える毒性値が検出されていましたが、このたび7月24日、31日と2週続けて毒性値が規制値を下回ったので、出荷の自主規制が解除されました。

貝毒原因プランクトン出現状況調査は、本年度は今回が最後となります。今後とも貝毒の状況には注意してください。

調査 月日	水深	水温 (°C)	貝毒プランクトン出現量 (細胞数/L)			イガイの下痢性貝毒検査結果* (*県水産漁港課調べ)		
			<i>Dinophysis fortii</i>	<i>Dinophysis acuminata</i>	<i>Dinophysis</i> 属 その他	採捕 月日	毒性値 (MU/g)	備考
4/16	5m	10.9	0	0	0			
	10m	10.3	84	7	0			
	20m	10.3	49	0	7			
4/24	5m	10.6	18	27	9			
	10m	10.5	0	0	8			
	20m	10.5	6	0	24			
5/1	5m	10.6	28	49	56			
	10m	10.5	40	32	64			
	20m	10.0	56	16	16			
5/8	5m	10.2	27	0	36			
	10m	10.0	0	0	0	6/4	0.1~0.2	6月7日 自主規制開始
	20m	9.8	14	0	7			
5/14	5m	11.2	160	80	544			
	10m	11.2	640	32	144	6/10	0.2~0.4	6月13日 規制継続
	20m	11.0	168	28	84			
5/23	5m	14.0	18	9	198			
	10m	12.6	576	32	432	6/18	0.1~0.2	6月21日 規制継続
	20m	11.3	264	16	344			
6/6	5m	19.0	170	50	160			
	10m	17.5	136	72	224	6/24	0.1~0.2	6月28日 規制継続
	20m	13.5	192	32	176			
6/17	5m	19.5	40	10	110			
	10m	15.5	45	36	207	7/1	0.1~0.2	7月5日 規制継続
	20m	15.0	9	63	432			
6/25	5m	22.7	0	0	0			
	10m	20.9	0	0	0	7/5	0.1~0.2	7月10日 規制継続
	20m	16.6	0	0	8			
7/3	5m	23.5	0	0	0			
	10m	23.1	0	0	8	7/11	0.05~0.1	7月17日 規制継続
	20m	22.6	0	0	16			
7/12	5m	23.5	0	152	136			
	10m	23.4	0	80	136	7/17	0.05~0.1	7月22日 規制継続
	20m	23.1	0	4	42			
7/24	5m	24.5	0	170	60			
	10m	24.0	0	200	16	7/24	<0.05	7月29日 規制継続
	20m	23.4	0	14	7			
8/6	5m	26.5	0	160	10			
	10m	25.6	0	42	7	7/31	<0.05	8月5日 規制解除
	20m	25.2	0	21	7			

なお、警戒値は*Dinophysis fortii*については200細胞/L(海水1リットルあたり200細胞)以上とされています(安本1993)。